

## ご挨拶

代表取締役社長執行役員 中 島 康 輔



このたび、社長としてKYBグループの舵取りを担うにあたり、KYBグループが企業価値を高め、国内外のお客様に信頼されて更に成長していくための重要課題とその対処について、述べさせていただきます。

### 1. お客様のご期待にお応えする「現場力」

まず、お客様のご期待にお応えするためには、市場におけるポジショニングをしっかりと把握するとともに、お客様のニーズにスピーディかつタイムリーにお応えしなくてはなりません。そのためには、「現場力」を高めることが重要であると考えております。これまで以上に様々な現場において改善を可能とする「現場力」を、グローバルレベルで高めていくことが必要です。

### 2. たゆまぬ製品開発とモノづくり力の向上

世界中のお客様からのご期待にお応えするために、従来から保有するKYBのコア技術の深耕に加え、今後はこれまで以上に、電子技術を駆使した「システム化」や「モジュール化」の開発を強化し、たゆまぬ製品開発を行ってまいります。これを継続することで世界中のお客様の信頼を獲得していきたいと考えております。

その取り組みの一環である事例をご紹介しますと、2015年4月にシステム実験棟が本格稼働し、テストコース、電子実験棟とを合わせてKYB開発実験センターとして体制整備を図りました。自前のテストコースと同敷地内に実験設備を有することで、円滑な技術・製品開発が可能になるという強みを活かし、お客様に対してスピーディかつタイムリーに技術や製品をご提案でき、受注獲得につなげていくことができます。

また、モノづくりではコンパクトで高効率革新ラインの構築を行うとともに、リードタイム半減(LT50)活動を海外拠点へ展開することで、グローバルで成果を獲得し、また、お取引先様とも一体となって活動を進めております。

### 3. 人財育成・マネジメント

KYBはモノづくりを牽引する技能集団と、グローバルな視点や思考をもって行動できる人財の育成に継続して取り組んでおります。

国内外において経営者候補の早期育成に注力するとともに、KYBのコア技術や技能を再設定し、マイスター（工師）として技能継承を進めます。また、グループ共通の評価制度や国際間異動ルールづくりなどの人事諸制度改革も引き続き進めてまいります。これにより、グローバルでの幅広い市場へ向けた製品開発に取り組むことができます。

### 4. KYBグループの企業価値の向上

先に述べましたように、お客様からの信頼獲得を進めると同時に、経営環境の変動に対して、アクセルとブレーキを効かせられる体質になっていることも重要です。また、一人ひとりが会社や社会のルール・決め事を守り、何事に対しても、誠実で思いやりのある対応を心がけることが、組織全体の成果や対外的な評価として表れていきます。このようにして、KYBグループの企業価値を高めることで、全てのステークホルダの皆様への継続的な成長に貢献できるものと信じております。

また、経営を担う立場として利益確保に注力し、2014年度から2016年度までの3年間を対象とする中期経営計画で掲げた「KYBグループ機能一体活動により、世界のお客様の信頼獲得と受注」の達成に向けて歩んでまいります。

KYBは本年10月1日に登記変更を行い、2005年10月から採用してまいりました通称社名の『KYB株式会社』が正式社名となりました。今後、新社名でお呼びいただくとともに、今までと変わらぬご愛顧をお願いする次第であります。

以上、社長就任にあたってのご挨拶とさせていただきますが、KYBグループの技術者達とも活発な議論を交わし、全員で改善と改革を進め、世界中のお客様からの信頼獲得に向けて、邁進していく所存でおります。